

中小企業の後継者問題解決の一助となる経験談を盛り込んだアトツギのすすめ 山根太郎「アトツギが日本を救う——事業承継は最高のベンチャーだ」 幻冬舎から10月11日に発売

住宅設備機器のインターネット販売を行う、株式会社サンワカンパニーの代表取締役社長・山根太郎 初の著書となる「アトツギが日本を救う——事業承継は最高のベンチャーだ」が10月11日に幻冬舎から発売されました。

日本企業の9割は同族経営の中小企業かつ、その多くが経営者が70歳を超えても後継者が決まっておらず、2025年には127万社が後継者不在の状態になると見込まれています（※1）。この中小企業の後継者問題は、いまや日本経済の最大のリスク要因のひとつとなっています。

本書は、商社勤務を経て30歳で2代目社長になった山根太郎自身のベンチャー型事業承継（※2）の経験をもとに執筆されています。家業のある家に生まれた「事業を受け継ぐ側」の視点に立った内容となっており、事業承継に関する実践的なノウハウも盛り込まれています。

【書籍概要】

- ・タイトル：アトツギが日本を救う——事業承継は最高のベンチャーだ
- ・発売日：2018年10月11日
- ・出版社：幻冬舎

〈目次〉

プロローグ 突然の「やっぱり、お前しかおらん」

第1章 大丈夫、大事なことは刷り込まれている

第2章 お家騒動を恐れるな

第3章 「社長になれる」というすごいチャンス

第4章 アトツギ社長の心構え

第5章 事業承継は最高のベンチャーだ

第6章 悩めるアトツギのためのチェックシート

エピローグ 誰にも言わなかったこと



著者：山根太郎プロフィール

1983年、奈良県奈良市生まれ。関西学院中学部、高等部、大学経済学部を卒業。大学在学中はプロテニス選手を目指して海外を転戦するも断念。就職前にイタリア、フィレンツェ大学に交換留学。2008年伊藤忠商事株式会社繊維カンパニー入社。2010年から2年間上海駐在。2014年、株式会社サンワカンパニー代表取締役就任、東証マザーズ最年少社長に（当時）。海外進出、東京・青山に450坪のショールーム開設など積極的に事業を展開。世界最大規模の家具見本市「ミラノサローネ国際家具見本市」の出演を決め、2回目の出演となる2018年、サンワカンパニーは最も優れた出展企業に贈られる「ミラノサローネアワード」を日本企業として初めて受賞した。

※1：中小企業庁「中小企業・小規模事業者政策について」（2018年1月公開資料より）

※2：若手後継者が、家業が持つ、有形無形の経営資源を最大限に活用し、リスクや障壁に果敢に立ち向かいながら、新規事業、業態転換、新市場開拓など、新たな領域に挑戦し続けることで永続的経営をめざし、社会に新たな価値を生み出すこと。近畿経済産業局が、ベンチャー政策の柱の一つとして2016年に策定した。

【本件に関するお問い合わせ】

株式会社サンワカンパニー マーケティング部 広報課 矢頭 ユミ、松本 明莉

MAIL：pr@sanwacompany.co.jp TEL：06-6359-4772 FAX：06-6359-6651